

Smart Times

2020年からの新型コロナウィルス禍で様々なサービスがオンラインにシフトした。当社の「イントレプレナー塾」もそのひとつだ。同塾の「ミッション、価値、成果とは何か」を改

めて再考した。「企業内起業家がひとりでも多く活躍する機会」にすることを「ミッション」に、「起業家に変貌する意欲を引き出す、ストーリーベースの力」を「ミッション」に再設計した。チャット、挙手、投票な

インターウォーズ社長

吉井 信隆



1979年リクルート（現リクルートホールディングス）入社。首都圏営業部長などを経て95年にインキュベーション事業のインターウォーズを設立、社長に就く。日本ニュービジネス協議会連合会副会長。

どの機能の活用と、少人数 オーマンスが低下してしま
でのワークの時間を増やす うのだ。また、リアルで会
ことで、双方向のコミュニ えないことでエンゲージメ
ケーションで塾生が主体的 ントの低下も懸念された。
に参加する、「知」の集積 試行錯誤した結果、オン
の場を構築した。オンライン ラインとリアルそれぞれの

はリアルで実施、互いに評 次々と変化するデジタル
価値合う。こうした取り組 社会でサステナビリティ
案が生まれ、多くのイント レプレナーが誕生した。
レプレナーが誕生した。 現政権が提唱する「新し
い資本主義」では、人的資 ければ、持続可能な「新し
い資本主義」
の軌道にはつ
ながらない。

人的資本投資経営の時代

これからの

ン化により、講義を録画し 利点と欠点を見極めたハイ
て、参加できなかつた塾生 ブリッド形式に改善した。
がいつでもどこでも受講で オンラインでは「笑いを誘
きるようになり、地域間の うナビゲート」「休憩の時
格差がなくなり学ぶ機会 の間設定とタイミング」「雑
均等につながった。 談タイムの導入」「カリキ

本投資が重視されてい 社会で適応する「人的資本
る。社会人の「学び直し」 経営」へのパラダイムシフ
として、デジタルなどのス トは、グローバルな視野で
人のやらないことに挑戦す
るスタートアップへの投資
と、価値を増大できる大企
業のイントレプレナーへの

しかし、オンラインには ュラムの短縮」「オンライ
落とし穴もある。オンライ ン飲み会」で集中力とモチ
ンは頭が疲れ、参加者の脳 ーションを維持した。
の動きが鈍化して言葉の出 リアルではカリキュラム
方が違ってくる。脳のパフ の中間と最終日に実際に集

きる人材がいるのか」とい ミズムの源泉になる。
る経営計画を描くだけでは ギとなる。
人的資本の投資の混合がカ
それが日本経済のダイナ